

5 Vol.62
No.5 2016

癌の臨床

JAPANESE JOURNAL OF CANCER CLINICS

CONTENTS

◆特集

膵がん治療の個別化による 予後向上

(第53回日本癌治療学会臓器別シンポジウムより)

ゲノム異常に基づく膵がん治療の個別化による予後向上の可能性

谷内田真一 221(1)

がん幹細胞を標的とする分子標的治療の開発—膵癌

佐田政史・他 227(7)

上腸間膜動静脈合併切除再建を伴う膵頭一括切除を用いて膵頭部癌
の根治術を目指す

田島秀浩・他 235(15)

膵癌放射線療法のさらなる個別化を目指して

澁谷景子・他 243(23)

編集委員

根本則道 大倉康男
山下 孝 古瀬純司
相羽恵介
片井 均
山本順司

編集顧問

下山正徳 泉雄 勝 松谷章司
望月幸夫 小山靖夫 島田安博
阿部令彦 丸山孝士
今村幸雄 小川一誠
田中 昇 坂元吾偉

First published in 1954. Whole Number 751

症 例

Bevacizumab 併用化学療法初回投与後 6 日目に後腹膜に穿通をきたした下行結腸癌の 1 例

石井 要・他 251(31)

がんに関する行政の動き

牧 潤二 259(39)

Global Oncology News

265(45)